

授業科目名	【G】 民法(債権総論)Ⅱ	区分 選択	開講年次	【G】3	単位数	【G】2		
科目区分	専門科目							
授業形態	対面授業							
担当形態	単 独							
施行規則に定める科目区分又は事項等								
サブタイトル	民法の基礎を学ぶ(その6)			担当者	勝田 信篤			
授業概要	【概要】	債権総論の後半について、具体的な例をあげて解説する。講義は板書および口頭での解説による。基本的なことは必ず板書するので、まずこれを理解することを第一に考えること。なお、授業中の私語、携帯電話等の使用を禁ずる。						
	【到達目標】	学習した内容を現実の事案にあてはめて、妥当な解決方法を導けるようになる。これは、評価基準に記載した「応用力」にあたる。 【例】学習した内容が、消費者トラブルの解決に繋がった。 学習した内容が、就職後の業務遂行の助けになった。						
履修条件	特になし							
アクティブ ラーニングの 方法	【○】	事前学習型	【-】	反転授業	【-】	調査学習	【-】	フィールドワーク
	【-】	双方向アンケート	【-】	グループワーク	【-】	対話・議論型授業	【-】	ロールプレイ
	【-】	プレゼンテーション	【-】	模擬授業	【-】	PBL	【-】	その他
ディプロマ・ ポリシーとの 関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	- (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)④	- (当てはまらない)						
他科目との 関連性	民法概論、民法(総則)Ⅰ・Ⅱ、民法(契約)Ⅰ・Ⅱを履修していることが望ましい。							
教科書	平野裕之『コア・テキスト民法 4 債権総論 第2版』新世社、2,640 円 六法(どの出版社のものでもよい。ただし、令和6年版。授業の際には必ず持参すること)							
参考書	鎌野邦樹『今日から役立つ民法』ナツメ社、1,540円							
評価方法	授業内に行なう理解度確認テストを特に重視する(90%以上)が、出席、授業への参加度等(10%以下)も加えて、総合的に評価する。 なお、出席の悪い者はマイナス評価とする。							
フィードバック 方法	授業内で理解度確認テストを行い、最終週に解答・解説を行う。							
評価基準	S: 授業内容を理解しており、秀でた応用力がある、A: 授業内容を理解しており、応用力もある、B: 授業内容を理解している、 C: 最低限の基礎力を備えている、D: 基礎力が不足している、E: 基礎力が著しく不足している、 F: 出席やレポート提出の状況が著しく悪い、試験を受けていない等(評価不能)。							

授業科目名	【G】 民法(債権総論)Ⅱ	区分	開講年次	【G】3	単位数	【G】2
		選択				
授業回数	授業内容					
1	債権譲渡①性質	予習: 教科書、レジュメの該当箇所を通読、疑問点記録(60分程度)。 復習: その他【自宅での学習例】参照。(120分程度)				
2	債権譲渡②効果	予習: 教科書、レジュメの該当箇所を通読、疑問点記録(60分程度)。 復習: その他【自宅での学習例】参照。(120分程度)				
3	債権譲渡③対抗要件	予習: 教科書、レジュメの該当箇所を通読、疑問点記録(60分程度)。 復習: その他【自宅での学習例】参照。(120分程度)				
4	債務引受①並存(重畳)的債務引受	予習: 教科書、レジュメの該当箇所を通読、疑問点記録(60分程度)。 復習: その他【自宅での学習例】参照。(120分程度)				
5	債務引受②免責的債務引受、契約譲渡	予習: 教科書、レジュメの該当箇所を通読、疑問点記録(60分程度)。 復習: その他【自宅での学習例】参照。(120分程度)				
6	分割債権・分割債務、不可分債権・不可分債務	予習: 教科書、レジュメの該当箇所を通読、疑問点記録(60分程度)。 復習: その他【自宅での学習例】参照。(120分程度)				
7	連帯債務①定義	予習: 教科書、レジュメの該当箇所を通読、疑問点記録(60分程度)。 復習: その他【自宅での学習例】参照。(120分程度)				
8	連帯債務②性質	予習: 教科書、レジュメの該当箇所を通読、疑問点記録(60分程度)。 復習: その他【自宅での学習例】参照。(120分程度)				
9	連帯債務③効果、連帯債権	予習: 教科書、レジュメの該当箇所を通読、疑問点記録(60分程度)。 復習: その他【自宅での学習例】参照。(120分程度)				
10	保証①性質	予習: 教科書、レジュメの該当箇所を通読、疑問点記録(60分程度)。 復習: その他【自宅での学習例】参照。(120分程度)				
11	保証②効果	予習: 教科書、レジュメの該当箇所を通読、疑問点記録(60分程度)。 復習: その他【自宅での学習例】参照。(120分程度)				
12	保証と連帯保証①性質	予習: 教科書、レジュメの該当箇所を通読、疑問点記録(60分程度)。 復習: その他【自宅での学習例】参照。(120分程度)				
13	保証と連帯保証②効果	予習: 教科書、レジュメの該当箇所を通読、疑問点記録(60分程度)。 復習: その他【自宅での学習例】参照。(120分程度)				
14	根保証、身元保証	予習: 教科書、レジュメの該当箇所を通読、疑問点記録(60分程度)。 復習: その他【自宅での学習例】参照。(120分程度)				
15	まとめ	予習: 教科書、レジュメの該当箇所を通読、疑問点記録(60分程度)。 復習: その他【自宅での学習例】参照。(120分程度)				
その他	【自宅での学習例】ノートを見ながら、その日の授業内容を再現してみる。疑問点が生じたら、まず教科書、参考書等で調べ、それでもわからなければ、次回の授業時に質問する。					